



## 学校集団接種に関する同意は オンラインで提出可能

お子さんが7年生の間に  
学校で通常実施される  
集団接種についての保  
護者や後見人の同意は  
オンラインで出すことが  
できます。

### 必要な情報

1. サービスNSWのログ  
イン情報
2. 保護者とお子さんの  
メディケアカードの情報  
(お子さんのメディケア  
カードが別の場合)
3. お子さんが2024年  
に通学する中等学校の  
詳細

NSW州学校集団接種  
プログラムについての  
詳しい情報は  
[health.nsw.gov.au/  
schoolvaccination](https://health.nsw.gov.au/schoolvaccination)を  
ご覧ください。

オンラインでの同意は  
[https://engage.health.  
nsw.gov.au/engage](https://engage.health.nsw.gov.au/engage)を  
ご覧ください。

より詳しい情報は：



# NSW州7年生学校集団接種プログラム

## 重要な情報2024年

# NSW州 学校集団接種プログラム



NSW州 保健省は学校と協力し、学校集団接種プログラムで7年生を対象にヒト乳頭腫ウイルス(HPV)ワクチンとジフテリア・破傷風・百日咳(dTpa)三種混合ワクチンを提供しています。こうしたワクチンは全国保健医療研究審議会(NHMRC)が推薦するもので、全国予防接種プログラムの予算で実施されています。

- これらのワクチンとそれぞれが予防する感染症についての情報はこの保護者向け情報シートに記載されています。
- お子さんに予防接種を受けさせるには、オンラインまたは同封の同意書による保護者の同意が必要です。ワクチンの無料接種が学校で受けられるのは、お子さんが7年生の間にオンラインで同意するか、この同意書に必要事項を記入してご署名の上返却していただいた場合に限られます。
- 同意は2ページにある説明に従って学校に連絡すればいつでも撤回することができます。
- お子さんに受けさせたくないワクチンがある場合には、そのワクチンの横には署名しないでください。
- 4ページにあるプライバシーステートメントには、提供していただいた情報がどのように収集・使用されるかについての説明があります。

オンラインでの同意は:

<https://engage.health.nsw.gov.au/engage>



## よくある質問

### ワクチンはどのように作用しますか

ワクチンには免疫系を刺激して一定の病原体を退治させる効果があります。予防接種を受けた人がこの病原体に接触すると、その人の免疫系はより効果的に対応できるため、感染症を予防したり、症状を大幅に軽減したりします。

### ワクチンはどれほど安全ですか

オーストラリアで使われているワクチンは安全で、医薬品管理局 (TGA) から使用許可を受ける前に安全性に関する厳しい検査に通らなければなりません。これに加え、使用開始後も TGA がワクチンの安全性の監視を行っています。

### 予防接種にはどんな副反応がありますか

副反応は普通、軽度で、通常は注射をした箇所の痛み、腫れ、赤みといった反応です。重度の副反応は非常にまれです。NSW州でHPVワクチンを接種した生徒の保護者に対して接種数日後に調査を行なったところ、生徒の9.7%に軽度の副作用がみられましたが、医師の診察が必要だったのは0.5%だけでした。副反応についてのさらに詳しい情報は、このワクチンに関する消費者向け医薬品情報 (CMI) [health.nsw.gov.au/schoolvaccination](https://health.nsw.gov.au/schoolvaccination) でご覧ください。

予防接種を受けた後のお子さんの副反応について心配な方は、かかりつけ医に相談し、最寄りの公衆衛生課 (Public Health Unit) にも報告してもらってください

### アナフィラキシーとは何ですか

アナフィラキシーとは重度のアレルギー反応で、素早く対処しなければ意識を失ったり、死に至る場合もあります。どんな予防接種でも非常にまれに生じます。学校集団接種の担当看護師はアナフィラキシーの対処について万全の訓練を受けています。アナフィラキシー反応を起こしたことがある生徒は、一定のワクチンを受けるべきではない場合があります。

### 子供がぜんそく持ちで、「パファー」でコーチゾンやプレドニソンを服用している場合はどうすればいいですか

ワクチンは、服用中の薬にかかわらず、ぜんそくの方に投与しても安全です

### 妊娠している、あるいは妊娠しているかもしれないと思う女生徒がこのワクチンの接種を受けてもいいですか

いいえ。妊娠している、または妊娠しているかもしれないと思う女生徒は、このワクチンを受けるべきではありません。集団接種日には、妊娠している、あるいは妊娠している可能性が

あるかどうかについて、予防接種を行う看護師が女生徒に尋ねます。お嬢さんがこの質問にはいと答えた場合には、お嬢さんには接種は行われません。

お嬢さんはこの問題について保護者/後見人と直ちに話し合い、医者に行くよう強く勧められます。またアドバイスとサポート、ガイダンスが受けられ、他の医療従事者への紹介も受けられる保健相談サービスの連絡先もお嬢さんにお知らせします。

### 同意は撤回できますか

同意は次のいずれかの方法でいつでも撤回できます。

- オンラインで同意した場合には、<https://engage.health.nsw.gov.au/engage> にログインし、表示される指示に従ってお子さんに関する同意を撤回してください
- 紙の同意書で同意した場合には、集団接種の前に学校に書面で同意撤回を知らせるか、学校に電話をして同意を撤回してください。

### 子供がもう少し大きくなるまで待ちたいのですが

これらのワクチンが学校で提供されるのは、お子さんが7年生のうちに同意書を提出した場合に限られます。お子さんがもう少し大きくなるまで待たれる場合には、かかりつけ医か薬剤師を通して予防接種を手配する必要があります。この場合には費用がかかることがありますのでご注意ください

### 子供が学校の集団接種を受けられなかった場合にはどうすればいいですか

7年生の間に今後実施される集団接種でお子さんが予防接種を受けられるように最善を尽くしますが、これが不可能な場合には、キャッチアップ接種の手配についてお知らせします。代替策としては、無料のキャッチアップワクチンをかかりつけ医や薬剤師を通じて手配することもできます。ただし、かかりつけ医や薬剤師は診察や投与に料金を課す場合がありますので、ご注意ください

### 身体/知的障害のある生徒も学校でワクチン接種が受けられますか

身体/知的障害のある生徒も大半は学校でワクチン接種が受けられます。ただし、生徒によってはクリニックの当日に追加的サポートを必要としたり、緊密な経過観察ができる専門の予防接種クリニックに行く必要がある場合があります。

お子さんが追加的サポートや専門クリニックへの紹介を要すると思われる場合には、電話1300 066 055に連絡し、最寄りの公衆衛生課 (PHU: Public Health Unit) にご相談ください。

### 予防接種の記録はどうやってもらえますか

お子さんの予防接種についての情報は、オーストラリア予防接種登録簿 (AIR) にアップロードされ、お子さんの既存の予防接種歴と結びつけられます。

お子さんの AIR 予防接種歴明細表については、次のいずれかの方法でお子さんが14歳になるまでは保護者が、14歳以上の生徒の場合には本人がそのコピーを求めることができます。

- myGov <https://my.gov.au> にあるメディケアのオンラインアカウントを利用する
- [www.servicesaustralia.gov.au/express-plus-mobile-apps](https://www.servicesaustralia.gov.au/express-plus-mobile-apps) からアプリ Medicare Express Plus を利用する
- AIR の一般お問い合わせ番号 1800 653 809 に電話する

HPV ワクチンを受ける女子生徒についてはこの同意書に署名されますと、お子さんの保健情報が将来リンクされる全国子宮頸がん検診プログラム登録簿に開示されることに同意したことになります

### 学校の集団接種についてもっと詳しい情報を知りたい場合には、どこに問い合わせればいいですか

詳しい情報は次の方法で入手できます

- NSW 州保健省のウェブサイト [www.health.nsw.gov.au/schoolvaccination](https://www.health.nsw.gov.au/schoolvaccination) をチェックする
- 1300 066 055 に電話をして最寄りの公衆衛生課に問い合わせる

## 各ワクチンについての情報

### ヒト乳頭腫ウイルス (HPV)

#### 感染症と感染経路

ヒト乳頭腫ウイルス (HPV) は女性と男性両方が感染する可能性のある、よくあるウイルスです。感染経路は保菌者とのセックスによる性器の接触です。血液その他の体液では感染せず、ウイルスは皮膚の微小な傷から侵入します。コンドームは性器の皮膚全体を覆うものではないため、予防効果は限られています。

すべてのHPVの種類で、目にみえる症状が生じるわけではありません。自分がHPV感染者であることを知らない人もたくさんいます。

HPVの一部の種類では、感染するとイボができることがあります。身体のどこにもできる可能性があり、これには陰部(外陰、膣、子宮頸、陰茎、陰囊、肛門、会陰)も含まれます。イボには通常、痛みはありませんが、かゆみや不快感がある場合があります。イボが生じる種類のHPVは、がんとの関連性がないため「低リスク」と呼ばれます。

他の種類のHPVは、がんになり得る細胞が大きくなる可能性があるため「高リスク」と呼ばれます。こうした細胞は治療をしないとがんになる場合があります。

ハイリスクのHPVは世界中のあらゆるがんの5%の原因となっており、これには次のものが含まれます。

- 子宮頸がんのほぼすべて
- 肛門がんの90%
- 膣がんの78%
- 中咽頭がん(喉の後部や舌、扁桃腺のがん)の60%
- 外陰がんの25%
- 陰茎がんの50%

男性がこの予防接種を受けると、男性特有のがんや性器のいぼの予防になるほか、女性の子宮頸がんの予防にもつながります

#### どのワクチンが使われますか

9種類のHPV(6、11、16、18、31、33、45、52、58)を予防するHPVワクチンが使われます。

### HPVワクチンの接種は何回受ける必要がありますか

海外の研究では、HPVワクチンの予防効果は1回でも2回でも変わらないことがわかっています。この証拠に基づいて2023年、オーストラリア予防接種専門諮問委員会(ATAGI)はHPVワクチンの接種回数を1回にする移行措置を推奨しました。

重度免疫不全の思春期の生徒の場合には、かかりつけ医か薬局での3回のHPVワクチン接種が奨励されています。この場合には1回目と2回目の接種間隔を2か月、2回目と3回目の接種間隔を4か月おく必要があります。

重度免疫不全とは、次の疾患がある場合を指します。

- 原発性免疫不全や続発性免疫不全(抗体をつくるB細胞やT細胞の完全もしくは一部の機能不全や欠損)
- HIV 感染
- がん
- 臓器移植を受けた
- 自己免疫疾患
- 強度の免疫抑制療法を受けている(無脾症や脾機能低下症を除く)

### このワクチンの接種は誰が受けるべきですか

HPVワクチンは7年生の全生徒が接種を1回受けるべきです。

HPVワクチンは子宮頸がんの原因となる全種類のHPVの感染を予防するものではありませんので、予防接種を受けた女性でも引き続き定期的に子宮頸がん検診(前称パップスメア)を受けることが重要です。

HPVワクチン接種を受けたかどうかにかかわらず、これまで一度でもセックスをしたことのある25歳以上の女性は全員が5年ごとに子宮頸がん検診を受けるべきです。

### このワクチン接種を受けるべきでないのは誰ですか

次に該当する人にはHPVワクチンを投与すべきではありません

- 妊娠している、あるいはその可能性がある
- 以前にワクチン接種後、アナフィラキシー反応を起こしたことがある

- 酵母に対してアナフィラキシー反応を起こしたことがある
- いずれかのワクチン添加物に対してアナフィラキシー反応を起こしたことがある(下記参照)

### ワクチンにはどんな添加物が入っていますか

このワクチンには、作用促進や保存剤としての効果がある添加物がほんの微量含まれています。これは酵母、アルミニウムアジュバント、塩化ナトリウム、L-ヒスチジン、ポリソルベート、ホウ酸ナトリウムなどです。

### このワクチンはどれほど効果がありますか

このワクチンが予防するのはリスクの高い種類のHPVで、これらは女性の子宮頸がんの90%以上の原因となっています。また男性特有のがんの原因となるHPVも予防します。このワクチンは若い年齢で、かつ初めての性交渉を経験する前に接種すると、もっとも高い予防効果が得られます。

全国HPVワクチン接種プログラムの導入(女子生徒2007年、男子生徒2013年)以来、次の結果が見られています。

- ワクチン対象年齢層の子宮頸部の悪性異常発生率が50%近く減少
- 青少年(21歳未満)の陰部イボの発生率が90%減少

最新の研究では、このワクチンは接種後10年以上にわたってほぼ完全な予防効果があることがわかっています。子宮頸がんの発症には通常10年以上かかるため、このワクチンが子宮頸がん罹患率低減に果たす役割はまだしばらく明らかになりません。

## 各ワクチンについての情報

### ジフテリア・破傷風・百日咳 (dTpa)

#### 感染症と感染経路

ジフテリアとは感染力があり、命を脅かす可能性もある細菌性感染症で、重度の呼吸困難や心臓機能不全、神経障害を起こします。感染者が咳やくしゃみをした後にこの菌を吸い込んだり、感染者の口や鼻、のどからの唾液やたん、皮膚からの体液に密接に接触したりするとジフテリアに感染することがあります。

破傷風とは死に至ることもよくある重度の神経系疾患で、激痛を伴う重度の筋肉の痙縮や、痙攣、開口障害などの症状が出ます。現代の集中治療でも、約10人に1人は死亡します。破傷風の感染源は土壌にある細菌で、重度あるいは軽度の傷で感染することがあります(時に、気づかなかった皮膚の刺し傷が土やほこり、肥料などで汚れて感染することもあります)。

百日咳とは咳の発作を起こす、感染力が強い細菌性感染症です。思春期の子供や大人の場合は最高3か月間も咳に悩まされることもあります。激しい咳の発作によって、嘔吐や肋骨骨折、毛細血管の破裂やヘルニアを誘発する場合があります。感染者から百日咳をうつされた6か月未満の乳児の場合には、約125人に1人が肺炎か脳障害を併発して死亡します。百日咳は咳やくしゃみによって他者に飛沫感染します。治療を受けずにいると、患者は咳が始まってから最高3週間、他者にうつす可能性があります。

#### どのワクチンが使われますか

ジフテリア・破傷風・百日咳三種混合ワクチン (dTpa) が1回の接種としてジフテリアと破傷風、百日咳の予防のために提供されます。大人になっても免疫を維持するためには、幼い時にこの三種混合ワクチンを受けた上で、この追加接種を受ける必要があります。過去にジフテリアと破傷風の予防接種 (ADT) を受けたお子さんでも、百日咳の予防のためにこのdTpaワクチンを受けるべきです。

### このワクチンの接種は誰が受けるべきですか

7年生は全生徒がdTpaワクチンの追加接種を1回受けるべきです。

### このワクチン接種を受けるべきでないのは誰ですか

次に該当する方々にはdTpaワクチンを投与すべきではありません。

- 以前にワクチン接種後、アナフィラキシー反応を起こしたことがある
- いずれかのワクチン成分に対してアナフィラキシー反応を起こしたことがある (下記参照)

### ワクチンにはどんな添加物が入っていますか

このワクチンには水酸化アルミニウム、リン酸塩、微量のホルムアルデヒド、ポリソルベート80、グリシンが入っています。またこのワクチンは製造過程でウシ由来物質に接触しています。

### このワクチンはどれほど効果がありますか

このワクチンはジフテリアと破傷風の予防に非常に効果的で、百日咳についても約80%予防できます

## プライバシーステートメント

### 私どもの義務

私どもは皆さんの個人情報をプライバシーに基づいて取り扱うことをお約束しています。

このステートメントには皆さんとお子さんについての情報収集の方法と理由、皆さんがどのようにご自分の情報にアクセスできるのか、また皆さんの情報がどのようにNSW州保健省内で使用されたり、他者に開示されたりすることがあるかが説明されています。個人情報とは皆さんとお子さんの個人の詳細と、お子さんの予防接種に関する個人の保健情報を指します。

### 情報の収集

個人情報はお子さんが適切な予防接種を受けられるようにするために収集されます。

お子さんの予防接種に関連する必要な情報で、予防接種サービスの管理に必要な情報だけが収集されます。

情報は可能な限り皆さんやお子さんから直接集めますが、お子さんの学校や、お子さんの治療にあたった医療従事者から情報を集める必要がある場合もあります。緊急事態においては、私どもがお子さんに最良のケアを提供できるように、ご家族の方や友人、介護者、その他の方から情報を集める必要があることもあります。

### 収集した情報の安全な保管

個人情報の保管にはいくつか方法がありますが、多くの場合は、紙文書の医療記録と/あるいはコンピュータ化された安全なデータベースの一部をなす電子文書の医療記録として保持されます。いずれのフォーマットの個人情報でも、損失や許可のないアクセス、悪用から皆さんの情報を守るために私どもは個人情報の安全な保管に関する厳しい規則と方針に従っています。

### 使用と開示

皆さんやお子さんの個人情報は、適切なケアと治療が提供できるようにNSW州保健省が使用したり、保健省以外の組織に開示されたりすることがあります。例えば皆さんやお子さんのかかりつけ医や、治療を受けている別の診療所や病院、NSW州救急医療サービス、紹介先の専門医などに開示されたり、臨床検査に使われたりすることがあります。また予算作成や計画の立案、安全と質の向上に向けた業務活動などをはじめ、NSW州保健省の業務や患者の治療に関する目的で個人情報が使用されたり開示されたりすることもあります。

報告義務のある感染症についての法律遵守と、メディケア情報や予防接種の統計提供を目的に州と連邦の政府機関に個人情報を開示することは義務付けられています。HPV予防接種のデータはオーストラリア予防接種登録簿 (AIR: Australian Immunisation Register) にアップロードされてお子さんの既存の予防接種歴に加えられ、その後のAIR予防接種歴明細表 (Immunisation History Statement) に含まれることとなります。女子生徒に関するデータは将来、全国子宮頸がん検診プログラムの登録簿にも開示されます。顧客満足度調査やワクチンの安全性をモニターする目的でも個人情報を利用して皆さんにご連絡を差し上げることがありますが、これらへの参加は任意で、参加しないことによって皆さんが受ける医療や保健サービスに影響が及ぶことはありません。

### ご自分の情報へのアクセス

皆さんには、私どもが保持するご自分やお子さんの個人情報へのアクセスを求める権利があります。ご自分の個人情報や医療記録のコピーをお求めの場合には、有料となる場合もあります。

### 詳しい情報とご連絡は

ご自分の個人情報がどのように管理されているかについてより詳しい情報をお求めの方は [health.nsw.gov.au/patients/privacy](https://health.nsw.gov.au/patients/privacy) のNSW州保健省保健情報についてのプライバシーマニュアル(NSW Health Privacy Manual for Health Information)をご覧ください。

ご自分の個人情報のプライバシーについてお問い合わせや苦情がおありの方は、電話 1300 066 055 で最寄りの公衆衛生課にご連絡ください。

# NSW 州学校集団接種プログラム

Japanese



黒か青のペンを使って保護者/後見人がすべての欄にブロック体でご記入ください。

## 生徒の詳細 (次の詳細はメディケアカードにある詳細と一致しなければなりません)

氏名

名

生年月日

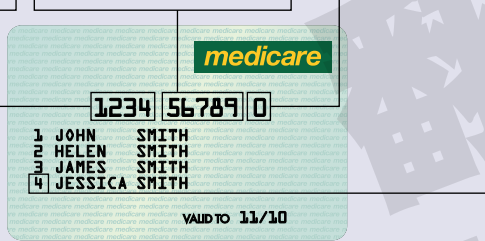
 /  /  20

性別  
 男  女  不確定/中性/不明

学校名

メディケア番号

メディケアカードのお子さんの名前の横にある番号



## 先住民かどうかについて

いいえ  はい、アボリジニです  はい、トレス海峡諸島民です  はい、アボリジニであり、トレス海峡諸島民でもあります

## 保護者 (親または未成年後見人) の詳細

保護者名 (例: (例) JACK SMITH)

住所 (例: 5 SMITH LANE)

サブurb名

郵便番号

携帯電話番号

代わりの電話番号

メールアドレス

## 同意書

HPVワクチンとdTpaワクチンの利点と生じる可能性のある副作用についてまとめられた情報を読み、この内容を理解しました。この同意はいつでも撤回できるということを理解しています。

プライバシーステートメントを一枚もらい、この文書に記載されているような一定の状況で私や子供の (保健情報を含む) 個人情報が開示される場合があることを了承しています。

私の知る限り、私の子供が次の通りであることに相違ありません。

- どのワクチンに対しても、アナフィラキシー反応を起こしたことがない。
- 保護者用情報シートに記載されているどのワクチン成分に対しても、アナフィラキシー反応を起こしやすい過敏体質ではない。
- 妊娠していない。

/  /  20  
子供に接種させたい各ワクチンについて(署名日)、下記署名します。

### 保護者署名

### HPVワクチン

本書に名前が記入されている私の子供が1回の接種を受けることに同意します。

### 保護者署名

### ジフテリア・破傷風・百日咳 (dTpa) ワクチン

本書に名前が記入されている私の子供が1回の接種を受けることに同意します。

裏面をご覧ください。 ▶

